※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	保育音楽図工実習	単　位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	プリント等						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

（音楽）ピアノ等鍵盤楽器の基礎的な奏法を習得すると共に、曲に相当した歌唱法を身につける。
（図工）図画工作教材の様々な技法と効果的な用い方について学び、「子どもの生活と遊び」の中での活かし方についての理解を深める。

2　学習の到達目標

保育の現場でも応用できる様々な情報も含め、生涯にわたり音楽・図工を愛好する心情を育てる。
（音楽）①曲種に応じた奏法の工夫、知識の習得を身につけることができる。②曲の構成や曲想を把握して表現することができている。③積極的に授業に参加しようという姿勢や準備ができており、自分の取り組みなどを自己評価することができる。
（図工）①子どもの創造性を触発するような教材の用い方を工夫する。②子どもの生活を考え、季節や行事に応じた環境作りや遊びに使用できるような作品を作る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・歌唱 曲種に応じた発声の工夫、知識の習得と実践ができている。視唱力が身についている。 ・器楽 鍵盤楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 ・図工 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 子どもの創造性を触発するために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し表している。	・歌唱 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫ができている。合唱における表現の工夫ができている。 ・器楽 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫ができている。 合奏における表現の工夫ができている。 ・図工 子どもの発達や興味に合った意図と創造的な工夫、子どもを主体とした表現活動について考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、子どもや保育環境に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・歌唱 積極的に授業に参加しようとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・器楽 技術習得に向けて積極的に取り組もうとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・図工 主体的に思考を深め、活動を通して計画的な創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	器楽	ピアノ演奏	a：楽譜の理解、ピアノの基礎的技術が習得できている。 b：曲想の把握と表現の工夫ができている。 c：積極的に授業に参加しようとする姿勢、振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	歌唱	歌唱(童謡など)	a：曲種に応じた発声の工夫、知識の習得と実践ができている。視唱力が身についている。 b：歌詞及び曲想の把握と表現の工夫、合唱における表現の工夫ができている。 c：積極的に授業に参加しようとする姿勢、振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期			a：様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 b：曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫、合奏における表現の工夫ができている。 c：技術習得に向けて積極的に取り組もうとしている。振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	鑑賞	教材に関する音源、映像鑑賞 様々なジャンルの音源、映像鑑賞	a：声や楽器の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。 b：さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。 c：記録シートを活用している。	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート

※令和４年度以降入学生用

前期	図工	・ペーパーレリーフ ・粘土でつくるオリジナル弁当	a:画用紙の折り方や切り方に工夫を凝らしている。 b:季節感を意識した配色や配置で画面を構成することができる。子どもが興味をもつようなデザインをめざし、アイディアスケッチを複数重ねることができる。 C:積極的に授業に参加しようとする姿勢。ワークシートによる自己評価。制作発表を自己評価、他者の作品についての評価ができている。 a:作業工程を理解し、色を粘土に混ぜたり、組み合わせたりすることで形を作ることができている。 b:子どもが興味をもつテーマや装飾を色や形で表現することができる。 c:積極的に授業に参加しようとする姿勢。ワークシートによる自己評価。制作発表を自己評価、他者の作品についての評価ができている。	ワークシート 作品	ワークシート 観察 アイディアスケッチ 発表	ワークシート 相互評価シート
後期		・モダンテクニック「動物」	a:技法を理解し、より多くの技法や色の組み合わせをしている。 b:子どもが興味をもつ形や色合いを考えることができる。エリック・カールの絵本を鑑賞することで表現方法を理解し、パーツを切って組み合わせ、動物を表現できる。 c:積極的に授業に参加しようとする姿勢。ワークシートによる自己評価。制作発表を自己評価、他者の作品についての評価ができている。	ワークシート 作品	ワークシート 観察 アイディアスケッチ 発表	ワークシート 相互評価シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度